

大谷、大リーグMVP

二刀流、満票で選出



【ニューヨーク共同】米大リーグ機構は18日、今季の最優秀選手(MVP)を発表し、投打の「二刀流」による歴史的な活躍をしたエンゼルスの大谷翔平(27)が満票でア・リーグMVPに選ばれた。

日本選手のMVPは2001年のマリナーズのイチロー以来、20年ぶり2人目の快挙。大谷はプロ野球日本ハム時代の16

年にパ・リーグMVPに選出されており、日米で選手最高の栄誉に輝いた。

メジャー4年目の今季は投手で9勝2敗、防御率3・18、156奪三振。打者では打率2割5分7厘、リーグ3位の46本塁打、100打点、26盗塁だった。

手(ともに今季終了時はブルージェイズ)とともに最終候補に残っていた。

大谷は岩手・花巻東高から13年にドラフト1位で日本ハム入り。14年にプロ野球史上初の「2桁勝利、2桁本塁打」を達成。16年には10勝、22本塁打で日本一に貢献した。エンゼルス入団は18年で、同年に4勝、22本塁打で新人王となった。



4月のホワイトソックス戦で、米大リーグ公式戦で初めて投打同時出場を果たしたエンゼルス・大谷翔平。投手で先発し、1回に2号先制ソロを放った。アアナハイム(共同)